

# 八ヶ岳山行報告

[山行日] 7月30日(土)～7月31日(日)

[参加者] CL: 斉藤一郎 会計: 寺崎眞理 記録: 菅井修

[コースタイム]

7/30

貝塚 IC4:20→6:00 談合坂 6:30→長坂 IC→8:00 海ノ口駐車場 8:15→ 8:35 林道登山口→  
12:10 三叉峰(主稜線)→13:30 展望荘 13:50→14:50 頂上 15:10→16:45 キレット小屋

7/31

キレット小屋 6:15→8:00 権現岳 8:15→8:50 三ツ頭 9:00→10:15 木戸口 10:25→  
11:35 神社跡→12:10 上登山口

[報告]

梅雨明けの最初の土日、海ノ口駐車場はすでに満杯。やむをえず路肩に駐車。すぐ横の登山口から別荘地の横を登る。



20分も登ると広い林道に出る。そこはあずまやと大きな案内図のある上の登山口だ。休憩の後出発。比較的なだらかな唐松やしらびその歩きやすい樹林帯を快調に進む。登るに従って樹高が低くなる。2500m程で2回目の休憩を取る。突然遠くで雷鳴のような音が聞こえた。その後雷に気をつけながら登るが、運良く、雷鳴は1回だけだった。12:10 三叉峰(主稜線)に着くがガスのため展望は良くない。ここから先権現までの稜線は50年ほど前に歩いたことがあるが覚えていない。展望荘まで岩場が続く。やはりガスが湧き曇り展望はあまり良くない。



展望荘の前でこれからの日程について話しあう。赤岳 展望荘からの阿弥陀岳  
山頂もガスの中。キレットの下りはガラガラの岩屑の付いた急斜面。近くはよく見えるが薄い霧で下の方がよく見えない。かえって高度間が薄れ怖くなかった様だ。この斜面を慎重に降りたため、予定よりかなり時間がかかってしまった。傾斜は緩くなり振り返ると、キレットの急な下り越に赤岳が大きく見える。樹林帯に入るとまもなくキレット小屋に着いた。この日の宿

泊者は 29 名で満杯。たった一人の管理人が忙しく用意している。

夕食前から食堂に座り、出されてお茶とつまみを楽しむ。夕食はカレーライス。お代わりあり。こんではいたが一人一人に寝具が与えられた。

## 2 日目

出発時間に合わせて、朝食を用意してくれる。宿の窓から富士山のはっきりと見える。快晴だ。6:15 出発。20 分程歩いたピークから、これから登る権現岳が雄大に見える。後ろを振り返ると昨日歩いた赤岳のとても降りられそうもない様な急斜面がはっきりと見える。右には南アルプス、左には秩父の山々が朝日に光る。



ピークからの権現岳



ピークからの赤岳



ピークからの秩父



権現山頂

権現岳直前に長いはしごがあった。はしごはだんだんと斜面から離れ、空中にかかっているようだ。おまけに支柱のいくつかはぶらぶらとしている。途中で休みたくなるが一気に登ると、息が切れた。権現の頂上はもうすぐだ。息を整え歩き始める。8:00 権現山頂着。ここからの眺望も絶品だ。

ここからは三ツ頭コースを下る。この下りは比較的緩やかで、山の斜面を巻くように下る。下山口に近いところに延命水という水場があったが、飲料不可ということだ。更に緩やかな斜面を 50 分ほど下り、舗装道路の三ツ頭登山口に付いた。タクシーを呼び海ノ口駐車場へ。灯明の湯(800 円)で 2 日間の汗を流し、関越-北関東-常磐-成田周りで帰る。